

KIORITZ

共立ラジコン草刈機

取 扱 説 明 書

型 式

RCM600

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目 次

安全にご使用いただくために	3
1 付属品の確認	8
2 各部の名称と取り扱い	9
2-1. 各部の名称	9
2-2. 本機の取り扱い	11
2-3. 送信機 (プロポ) の名称	16
2-4. 送信機 (プロポ) の取り扱い	17
3 作業の準備	18
3-1. 運転前点検	18
3-2. 燃料の準備	19
3-3. 送信機 (プロポ) の準備	20
4 運転・作業の仕方	21
4-1. エンジンの始動	21
4-2. エンジンの停止	22
4-3. 走行の仕方	23
4-4. 草刈作業の仕方	24
4-5. 積み下ろし	25
5 点検・整備	26
5-1. 日常点検・定期点検	27
5-2. 各部の点検	29
5-3. 故障対策	34
5-4. 格納について	36
6 仕様	38
7 その他	39
7-1. 消耗品	39

安全にご使用いただくために

警告表示について

 危険
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

 警告
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

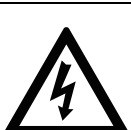
 注意
その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。
---	---

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		「挟まれ」に注意すること
	作業中は、保護具を必ず着用すること		回転部への「巻き込まれ」に注意すること
	通気の悪い場所で製品を使用しないこと		「刈刃」に注意すること
	火災に注意すること		「高温部」に注意すること
	「電気ショック」に注意すること		「飛散物」に注意すること

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ



警告

製品の使用目的以外の使用禁止

- 本製品は農業従事者向け専用の機械として開発されておりますので、これ以外の用途（レンタル等で作業者が特定できないような使われ方）では使用しないでください。保証の対象外となる場合があります。
- 日本国内でのみ使用してください。

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- 製品を改造しないでください。

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- 定期的に点検・整備をしてください。

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- 製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者

- ラジコン草刈機を初めて使用する人は必ず納品説明を受け、操作を理解し予め試運転操作を行ってからご使用ください。また、作業中に周囲の人に遠隔操作作業が分かるように立て看板などを準備し、事故が起こらないようにしてください。
- 体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。
- 次のような人は使用しないでください。

- ◆ 妊娠している人
- ◆ 16 歳未満の人
- ◆ 指導者のいない未熟練者
- ◆ 取扱説明書の内容を理解していない人

事故や重傷を負う原因となります。

健康管理

- 休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。

製品の使用環境・作業環境

- 次のような場合は製品を使用しないでください。

- ◆ 降雨時や落雷の恐れがあるとき
- ◆ 使用限界を超える傾斜地や走行に影響のある凹凸が激しい場所
- ◆ 夜間や視界が悪い場所

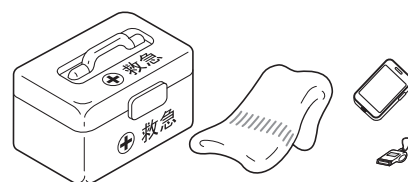
転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

- 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- ◆ 救急箱（応急手当用）
- ◆ タオルや手ぬぐい（止血用）
- ◆ 呼子や携帯電話（外部との連絡用）

応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



安全にご使用いただくために

警告

発火・発煙・火災への備え

○マフラーやリコイルカバーなどエンジン周辺に堆積した刈草などは、エンジンを停止してから速やかに取り除いてください。

火災の原因となります。

○発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。

○エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、まず製品から離れて、身体の安全を確保してください。

○周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

注意

○カバーを外したまま運転しないでください。

事故や重傷を負う原因となります。

取扱説明書

○この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。

○この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。

○損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から購入してください。

事故や重傷を負う原因となります。



保護具の着用

○目の保護

この機械を使用する人は、刈刃装置から飛んでくる物に対してだけでなく、空中の木コリや、種、花粉などから目を保護するものを身に付けなければなりません。

日常でメガネを使用している人は、そのメガネの上から保護メガネ（ゴーグル）などの目を保護するものを付けてください。

○頭部の保護

飛散時や転倒時の危険に対して、保護帽（ヘルメット）を使用し頭部を保護してください。

○手の保護

作業用手袋を着用してください。

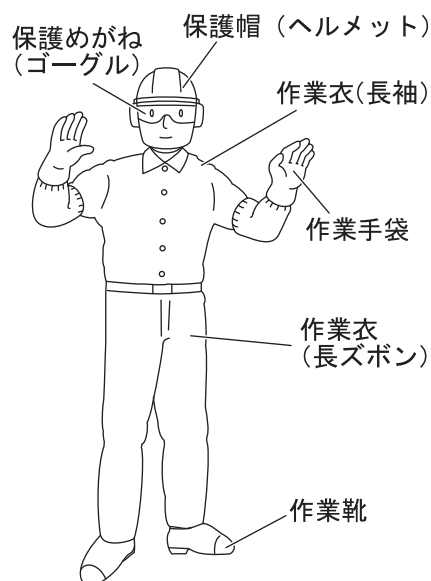
柔らかい革のものは、にぎりをより確実なものにできます。

○脚全体の保護

底に滑り止めの付いた丈夫な作業靴を着用してください。

○身体保護のための追加事項

アレルギー性鼻炎（花粉症）等の症状が出やすい人は、薬局などで売っている使い捨ての防塵マスクを付け、アレルギーを起こす花粉などを極力吸い込まないようにしてください。



重要

○製品改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。

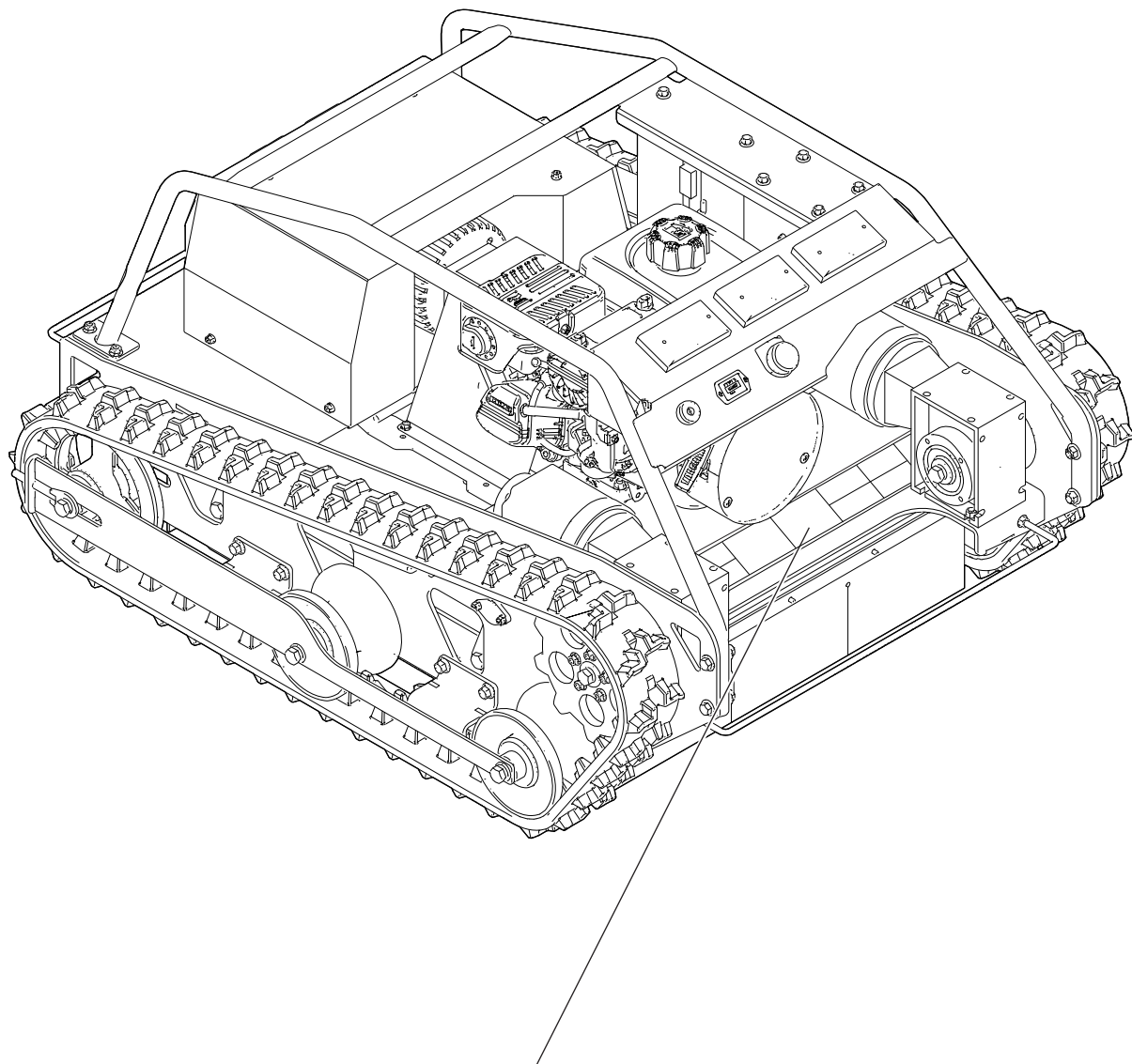
○使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。

○使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。

安全にご使用いただくために

警告表示ラベル

- 本書で説明している製品の警告表示ラベルを示しています。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
- ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。

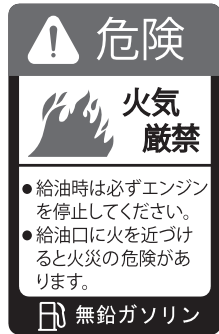


 危険 デッキ内に手や足を近づけないで下さい。 刈刃で大けがをする恐れがあります。	 警告 ◇作業前に刈刃を点検し、変形や締め付けに緩みがないか確認して下さい。 ◇作業範囲内の石や異物は取り除いてから作業して下さい。 ◇飛散防止カバーを外した状態で作業しないで下さい。 ◇周囲の人や動物、自動車・建物から離れて作業して下さい。 ◇作業中は周囲からみえる位置で安全を確認しながら操作して下さい。	 警告 ◇公道走行はできません。 ◇人や物をのせて走行しないで下さい。 ◇斜面では転落の恐れがありますので山側から操作し、谷側には人を侵入させないで下さい。 ◇マフラーやリコイルカバーなどエンジン周辺に蓄積した刈草などは火災の恐れがあります。 エンジン停止してから、速やかに取り除いて下さい。	 警告 斜面では駐車しないで下さい。 作業が終わった後、バッテリー走行や輸送時には必ずアクセルレバーを閉じて下さい。これらを怠ると燃料が漏れる恐れがあります。	 注意 保護具着用 使用中は保護眼鏡・長靴・手袋・帽子等の保護具を着用して作業して下さい。
 危険 作業範囲内に人を近づけないで下さい。 刈取部から石などが飛散して危険です。	 注意 説明書熟読 取扱説明書をよく読んで正しく作業して下さい。	 重要 エンジンのアクセルレバーは全開でご使用下さい。 充電が行えず、正常に動作しません。		

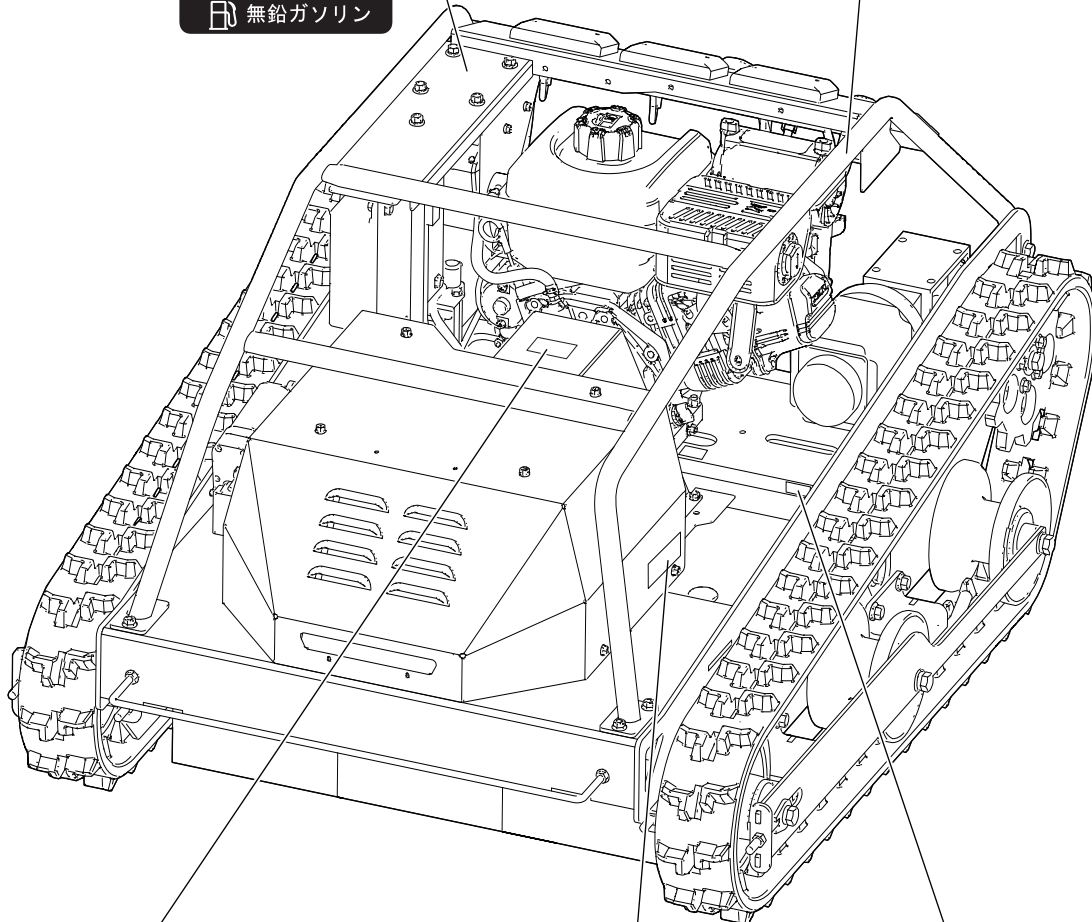
部品番号
P021-054450

安全にご使用いただくために

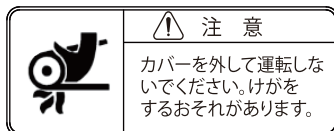
部品番号：X505-006030



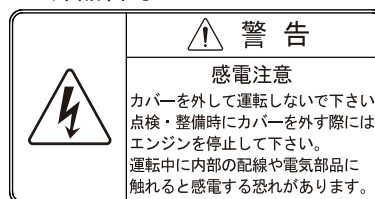
部品番号：X505-006040



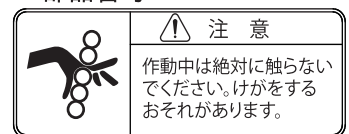
部品番号：X564-000050



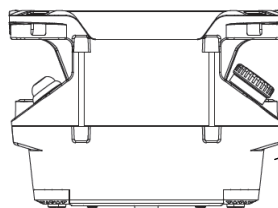
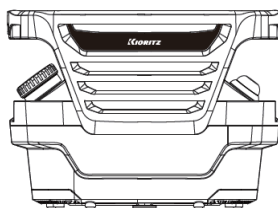
部品番号：X505-012010



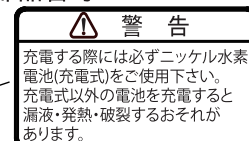
部品番号：X505-009911



送信機(プロポ)

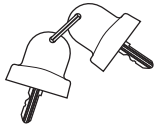


部品番号：X505-012030

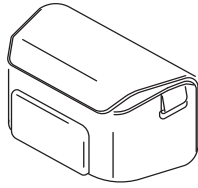


1. 付属品の確認

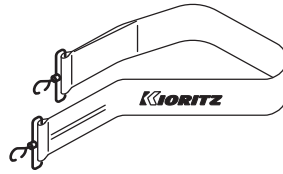
○ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



キー



キャリーバッグ



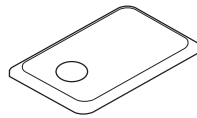
プロポ肩掛けバンド



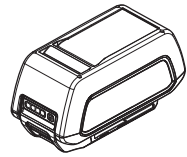
充電式乾電池



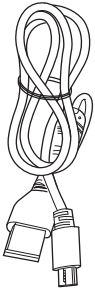
送信機（プロポ）



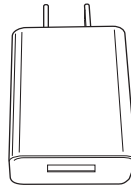
充電器



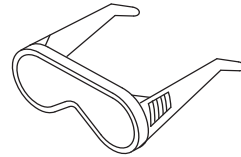
50V2Pバッテリー



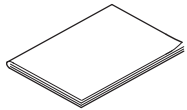
充電(USB) ケーブル



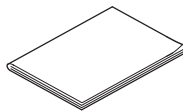
USB電源



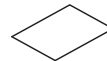
ゴーグル



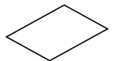
取扱説明書（製品）



取扱説明書（エンジン）

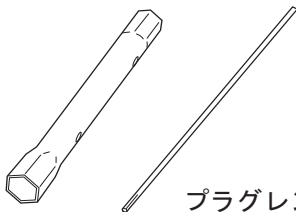


取扱説明書（グリス注入）



保証書

メンテナンス用

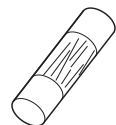


プラグレンチ

予備部品



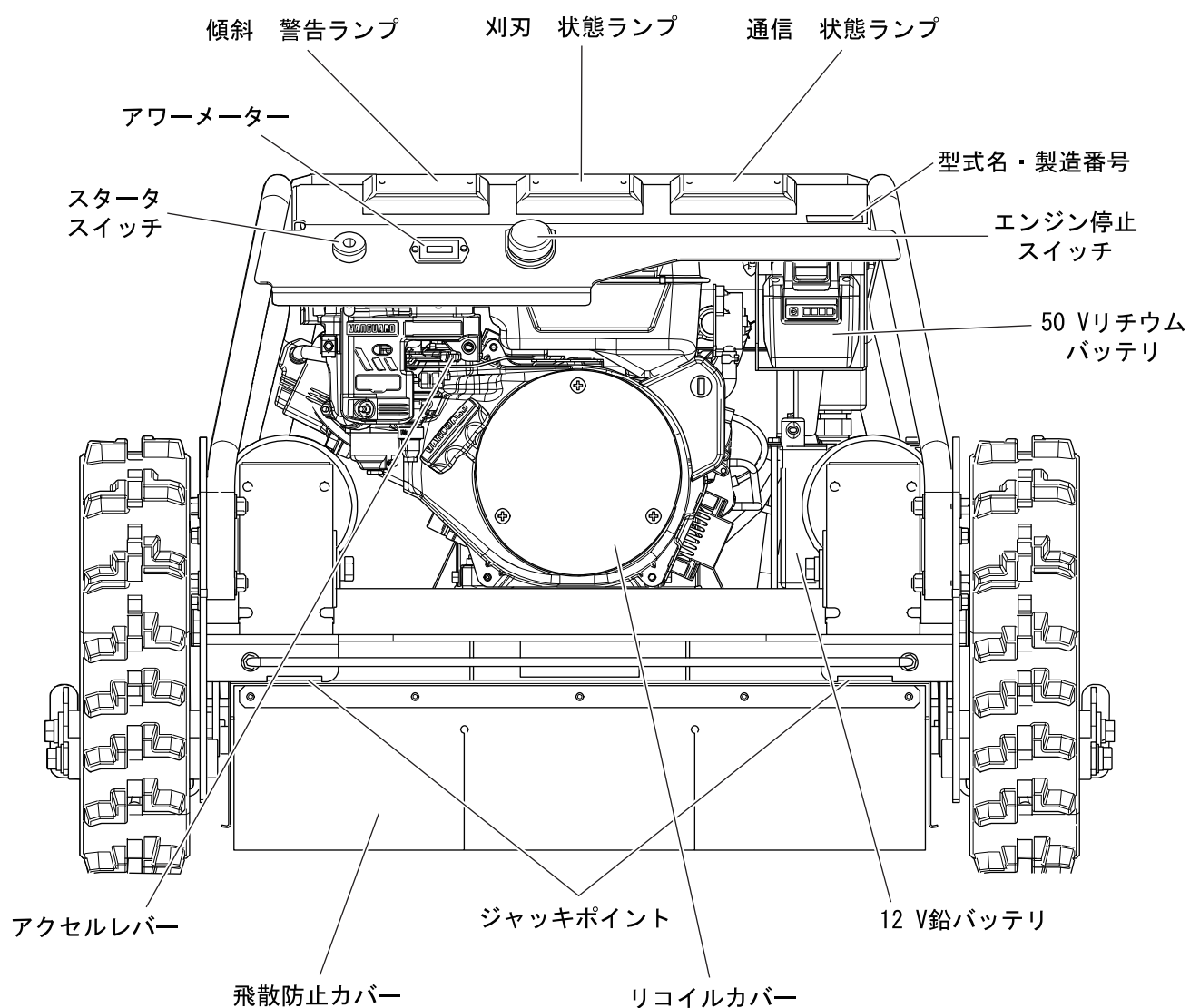
ジョイスティックキャップ



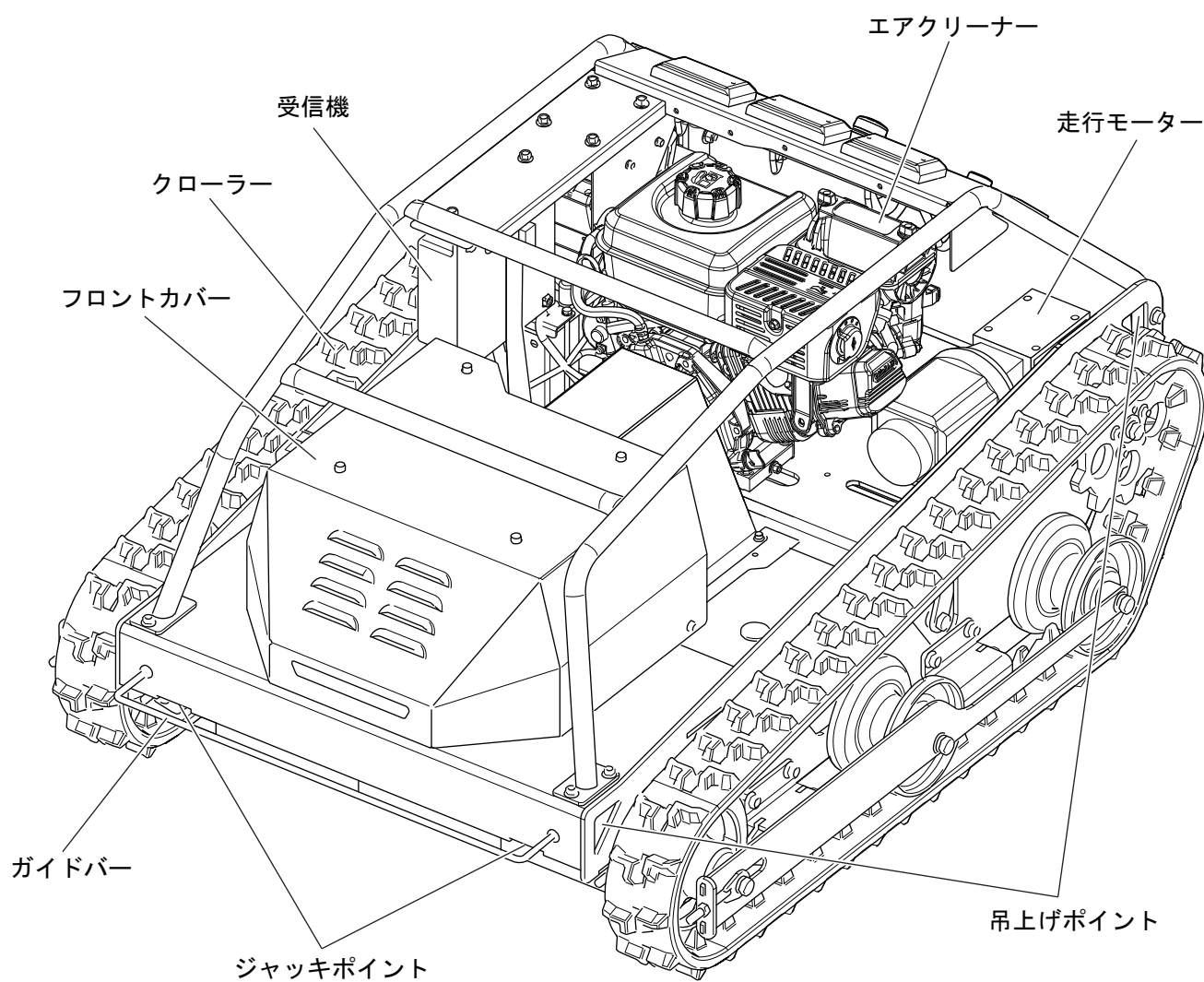
受信機用管ヒューズ

2. 各部の名称と取り扱い

2-1. 各部の名称



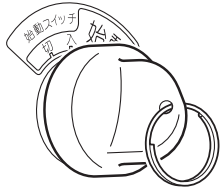
2. 各部の名称と取り扱い



2. 各部の名称と取り扱い

2-2. 本機の取り扱い

■ スタータスイッチ



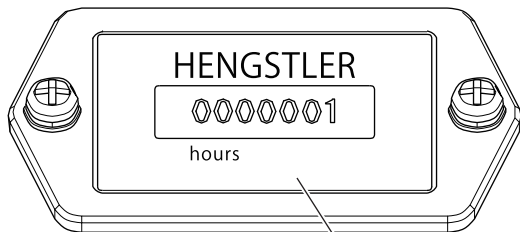
警告

- 製品を使用しないときは、スタータスイッチキーを抜いてください。
事故の原因となります。

スタータスイッチ

- ◆ エンジンの「運転・停止」を切り替えます。
切 : エンジンが「停止」し、電流が流れません。(この位置でキーを抜き差しできます。)
入 : エンジンが「運転中」で、各電装品が使用できます。
始動 : エンジンが「始動」します。

■ アワーメーター



アワーメーター

アワーメーター

- ◆ 製品の使用時間を数字で表示します。

重要

- エンジンオイルなど消耗部品のチェックの目安に使用してください。

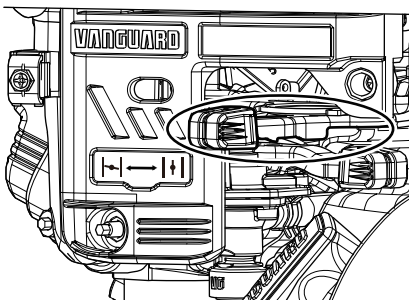
■ エンジン停止スイッチ



エンジン停止スイッチ

- ◆ エンジンを緊急停止させるときに使用します。

■ アクセルレバー



アクセルレバー

- ◆ エンジンの回転を調整します。また、全閉では燃料をカットします。

警告

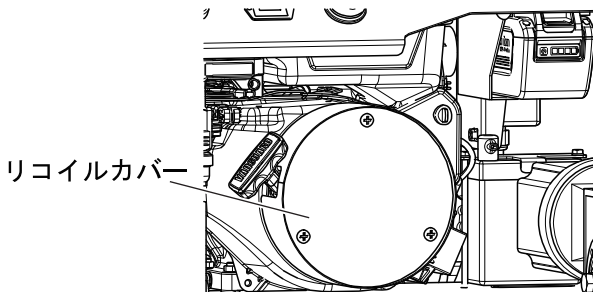
- アクセルレバーを開いた状態で斜面に停車しないでください。
- 作業が終わった後、バッテリー走行や輸送する際には必ずアクセルレバーを閉じてください。
燃料が漏れて火災となり、事故や重傷を負う原因となります。

2. 各部の名称と取り扱い

重要

- エンジンのアクセルレバーは全開で使用してください。
不全開の場合発電しないので、正常に動作しません。

■ リコイルカバー



リコイルカバー

- ◆ エンジンの冷却通路に刈草などの侵入を防ぎます。

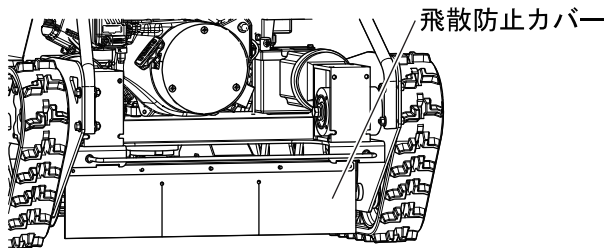
警告

- エンジン周辺に堆積した刈草などは、エンジンを停止してから、速やかに取り除いてください。
事故や火災の原因となります。

重要

- リコイルカバーに付着した刈草は、定期的に取り除いてください。
エンジンがオーバーヒートし、正常に作業できなくなる恐れがあります。

■ 飛散防止カバー



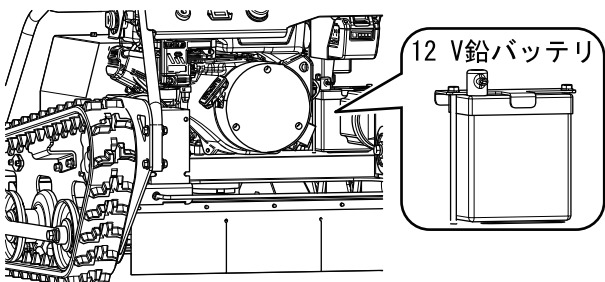
飛散防止カバー

- ◆ 石など異物の飛散を最小限に抑えます。

警告

- 飛散防止カバーを外した状態で作業しないでください。
石などの飛散事故により、重傷を負う原因となります。

■ 12 V 鉛バッテリー



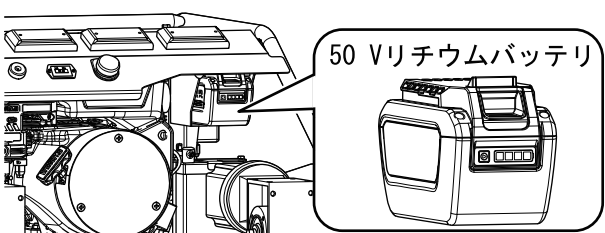
12 V 鉛バッテリー

- ◆ エンジン始動・各種アクセサリ用のバッテリーです。

重要

- 12 V 鉛バッテリーを外した状態で、エンジンを始動しないでください。
冷却ファンなどのアクセサリが破損する恐れがあります。

■ 50 V リチウムバッテリー



50 V リチウムバッテリー

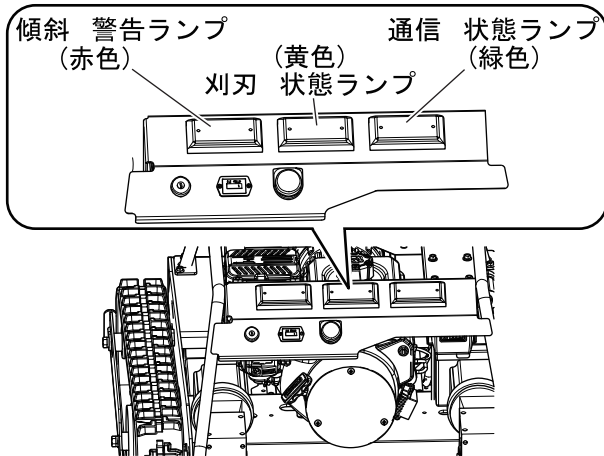
- ◆ バッテリー走行用のバッテリーです。
- ◆ 納屋の移動、積み下ろし、燃料切れの際は、エンジン始動せずに走行できます。ただし、刈取作業は出来ませんので、エンジン始動して作業をしてください。
- ◆ 取り付けの際は、ロックがかかるまで差し込んでください。
- ◆ エンジン始動時に充電されますが、インジケータは3つ点灯で停止します。
- ◆ 必要に応じて専用の急速充電器で充電してください。

2. 各部の名称と取り扱い

- ◆ 使用する際は、付属の取扱説明書をよく読んでください。

やまびこ純正品	
50 V リチウムバッテリー型式	LBP-50-150(G)
	LBP-50-250(G)
急速充電器型式	LCJQ-560D

■表示ランプ



表示ランプ

- ◆ 各ランプの点灯・点滅パターンによって機体状態を確認できます。

表示ランプ				機体状態	その他
赤色	黄色	緑色	パターン		
			消灯	スタータスイッチ「切」	—
			2 秒点灯	スタータスイッチ「入」	—
			点灯	操作可能	—
			点滅	待機状態	—
			高速点滅	50 V リチウムバッテリー残量低下	—
			消灯	刈刃回転「切」	—
			2 秒点滅	刈刃始動合図	—
			点灯	刈刃回転「入」	回転直後は刈刃回転が上がるまで数秒待つてから走行する
			点滅	刈刃過負荷 (小)	速度を下げる、刈高さを上げることにより刈刃の負荷を下げる

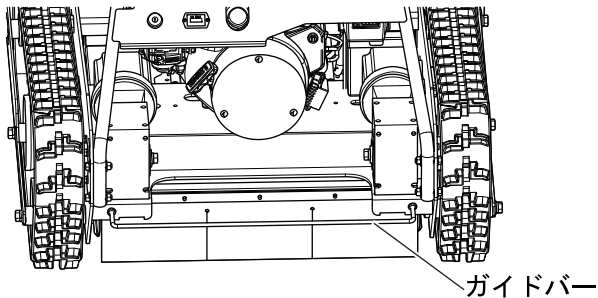
2. 各部の名称と取り扱い

表示ランプ				機体状態	その他
赤色	黄色	緑色	パターン		
	●●●●●		高速点滅	刈刃過負荷(大)始動時	刈高さを上げる、前後に移動することにより刈刃の負荷を下げる
				刈刃過負荷(大)により自動停止	刈刃スイッチ：オフ→オンで復帰 速度を下げる、刈高さを上げることにより刈刃の負荷を下げて再開する
○			消灯	傾斜角度 40° 未満	—
● ● ●			点滅	傾斜角度 40~45°	—
				電装品オーバーヒート警告	負荷を下げる
●●●●●			高速点滅	エンジン異常(低回転)	エンジンスロットルを全開にする
				電装品オーバーヒートにより自動停止	冷却後、消灯したら走行可能 走行負荷を下げて再開する
■			点灯	傾斜角度 45° 以上	使用しないこと

上記以外で点灯・点滅している場合には、何らかの機体異常があります。

直ちに作業を中止し、販売店に連絡してください。

■ガイドバー



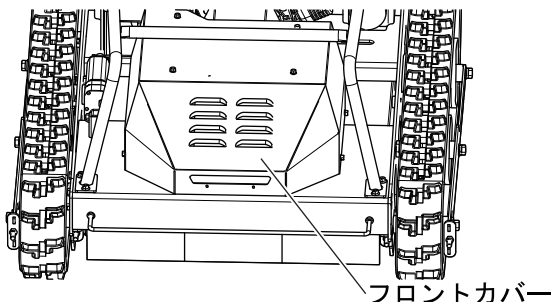
ガイドバー

- ◆ ガイドバーの幅は刈幅を示しています。
- ◆ 機体を操作する際に目安としてお使いください。

⚠ 注意

- 作業中、ガイドバーより内側に手や足を近づけないでください。
刈刃で大ケガする恐れがあります。

■フロントカバー



フロントカバー

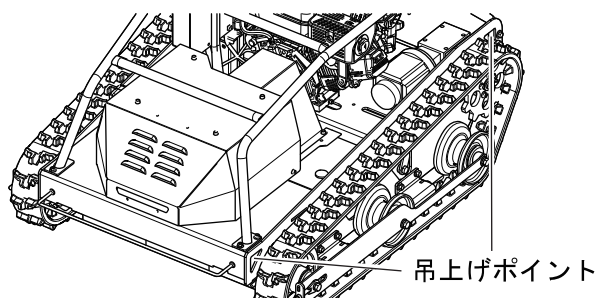
- ◆ 制御基板などの電気部品を保護するカバーです。
- ◆ フロントカバー内を空気循環させるために吸気口があります。作業前にゴミのつまりなどがいないかを確認してください。草などが詰まっている場合には、ブラシ等で清掃してください。

⚠ 警告

- カバーを外して運転しないでください。
- 点検・整備時にカバーを外す際には、エンジンを停止してください。
運転中に内部の配線や電気部品に触れると感電し、事故の原因となります。

2. 各部の名称と取り扱い

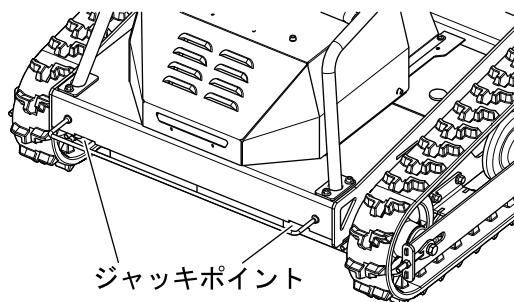
■吊上げポイント



吊上げポイント

- ◆ 刈刃交換などのメンテナンス作業時、緊急時の引き上げの際に十分な強度のあるワイヤーロープ等を用いて本機を吊上げます。

■ジャッキポイント



ジャッキポイント

- ◆ デッキ清掃や刈刃点検などのメンテナンス作業時、ジャッキアップスタンドを掛ける際に使用します。

2. 各部の名称と取り扱い

2-3. 送信機 (プロポ) の名称



【適合規格】
技術基準適合証明および技術適合認定



[R] 201-200893

2. 各部の名称と取り扱い

2-4. 送信機 (プロポ) の取り扱い

電源スイッチ

- ◆ プロポの電源です。
- ◆ 右に回すことで電源が入ります。スイッチを押すと電源が切れます。

スタートスイッチ

- ◆ 通信開始スイッチです。
- ◆ 待機状態でスイッチを押すと通信状態となり、プロポ操作ができます。

前後進 / 旋回レバー

- ◆ 本機を走行させるためのレバーです。
- ◆ レバーの倒し量で、速度調整ができます。
- ◆ 旋回レバーのみを操作すると、その場で旋回します。

走行速度調整スイッチ

- ◆ 走行速度の調整を行います。
- ◆ スwitchを回すことで調整ができます。

モーターバランス調整スイッチ

- ◆ 左右モーター回転の調整を行います。
- ◆ 傾斜地で直進性をアシストすることができます。スイッチを回した方向にアシストし、回す量に応じてアシスト量の調整ができます。

刈刃回転スイッチ

- ◆ 刈刃モーターを入り切りするスイッチです。
- ◆ エンジン始動後、「入」にすることで、刈刃が回ります。エンジン始動前に「入」に入っていた場合には刈刃は回りません。一度、「切」にしてから「入」にすることで、刈刃モーターが回ります。

正面切替スイッチ

- ◆ 機体の前進方向と後進方向が反転します。
- ◆ 「切」の状態では前後進レバーを前方向に倒すと、本機は前進します。
- ◆ 「入」の状態では前後進レバーを前方向に倒すと、本機は後進します。
- ◆ ただし、プロポ電源始動時に「入」の位置にあった場合には、操作ができませんので使用する前に「切」にしてください。

刈高調整スイッチ

- ◆ 刈高さの調整を行います。
- ◆ 調整は無段階です。刈高さ表示ランプを見ながら刈高さを調整してください。

刈高さ表示ランプ

- ◆ 刈高さを表示します。
- ◆ 刈高調整スイッチを操作することでランプが変わります。左側が最下げ、右側が最上げです。

刈刃駆動ランプ

- ◆ 刈刃駆動を表示します。
- ◆ 刈刃回転スイッチを「入」にすることで、ランプが点灯します。

電源ランプ

- ◆ 送信機 (プロポ) の電源を表示します。
- ◆ 電源スイッチを右に回すことで、ランプが緑点灯します。

3. 作業の準備

3-1. 運転前点検

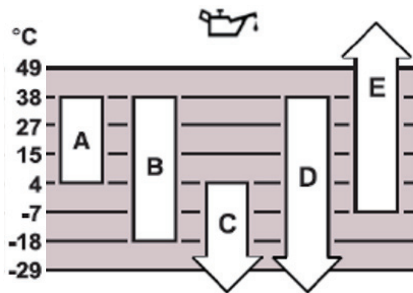


警告

○ 安全作業のため、27 ページ以降記載の日常点検作業表を参照して、運転前に点検をしてください。

○ 異常があるときは整備をしてください。自分でできない場合は、販売店に依頼してください。

整備不良のまま使用すると事故や重傷を負う原因となります。



推奨オイル

A	SAE30・・・4℃以下で SAE30 を使用すると、始動不良が生じることがあります。
B	10W-30・・・27℃以上で 10W-30 を使用すると、オイル消費量が増加することがあります。オイル量をこまめに確認してください。
C	5W-30
D	化学合成オイル 5W-30
E	Vanguard® 化学合成オイル 15W-50

エンジンオイルの点検、補給

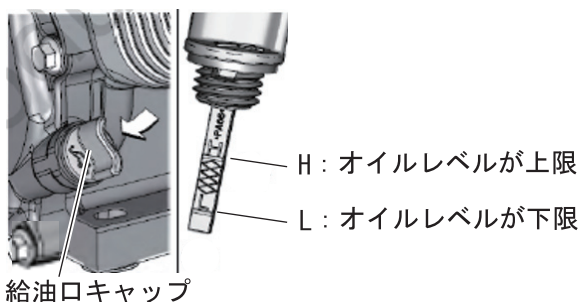
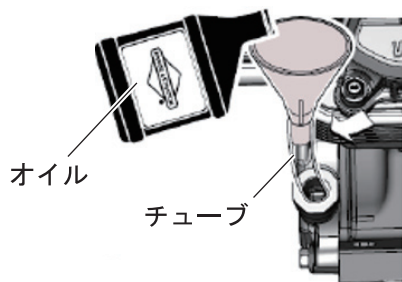
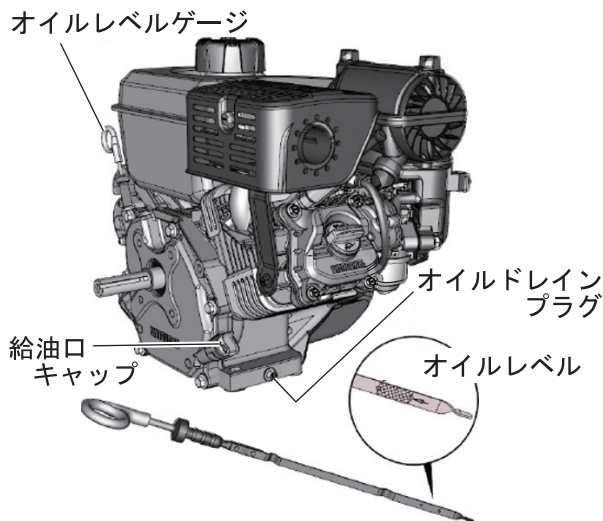
オイルの汚れを点検し、汚れがひどい場合には交換してください。(交換は 29 ページの「エンジンオイルの交換」を参照)

重要

- 初めてエンジンをかける場合は、オイルレベルを確認してください。
 - エンジンの取扱説明書に従いオイルを補給・交換してから、運転をはじめてください。
- オイルが入っていない状態でエンジンを始動させると修理不可能な損傷を引き起こし、保障の対象外となります。

注意

- 正規面より多く入れるとオイルが吹き出ることがあります。



1. 製品を水平な場所においてください。
2. 給油口キャップを外してください。
3. オイルレベルゲージを外し、きれいに拭いてください。
4. オイルレベルゲージの差し込み、引き出しはゆっくり行ってください。
5. エンジンの取扱説明書を参照し、必要に応じてクランクケースにオイルを規定レベル内まで補給してください。
6. 給油口キャップをしっかり締めますが、締めすぎないように注意してください。
7. エンジンをかけ、1 分間動かしてください。エンジンが動いてる間に、オイルの漏れがないか点検してください。

3. 作業の準備

3-2. 燃料の準備

⚠ 危険

- 給油する際は、車体を平坦な場所に駐車してください。
- エンジンには必ず停止して、本機の電源を切り、エンジンが冷えた状態で行ってください。
- 燃料を補給中にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないでください。

燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負ったりすることになります。



⚠ 警告

- ポンプで燃料容器に燃料を移すときは、容器を地面に置いてください。

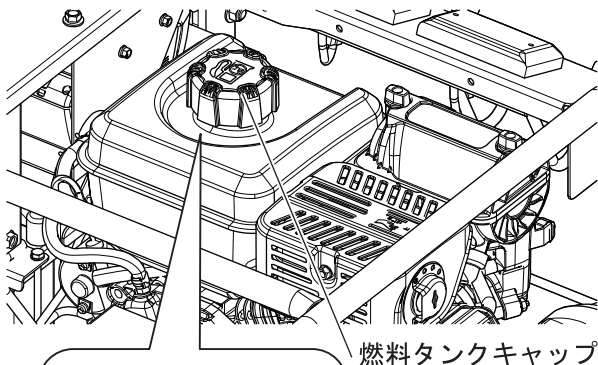
静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。

- 給油限界位置を越えて補給しないでください。
- 燃料をこぼさないように注意して、こぼれたら拭き取ってください。
- 燃料タンクや燃料ホースから燃料の漏れやにじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 補給後は、燃料タンクキャップをしっかり締めてください。
- 燃料を洗剤として使用しないでください。
- 燃料は換気のよい場所で保管してください。

燃料に引火して火災や火傷の原因となります。

重要

- この製品に使用する燃料はガソリンです。燃料タンクにはガソリンのみを入れてください。



燃料タンクキャップ

給油限界位置

燃料の給油

- ◆ 燃料タンクキャップを外して給油限界位置を越えないことを確認しながら補給してください。補給後は、燃料タンクキャップをしっかり締めてください。
- ◆ ガソリンの中に水分やゴミが入っていると、エンジン不調の原因となるので、きれいなガソリンを使用してください。ガソリンをドラム缶で購入される場合は、きれいなガソリンが燃料タンクに入るようにしてください。

3. 作業の準備

3-3. 送信機 (プロポ) の準備



○プロポの充電

1. プロポの電源を切ってください。
2. プロポの充電器を家庭用 AC100 V コンセントに接続してください。
3. プロポの底面にある突起を充電器の溝に合わせて置いてください。
4. 充電が開始すると「ピー」と音が鳴り、プロポの充電ランプが赤点滅します。
5. 充電が終わると充電ランプが緑点滅に変わりますので、プロポを充電器から取り外してください。

⚠ 警告

○ 充電するには、必ず指定するニッケル水素電池 (充電式) をご使用ください。

漏液・発熱・破裂し、事故や重傷を負う原因となります。

重要

- 作業前に必ずプロポを充電してください。

○プロポ充電電池

メーカー：富士通 FUJITSU

名称：ニッケル水素電池 単 3 形 1.2 V
min.1,900mah

型番：HR-3UTC (4B)

○プロポの電池交換

1. プロポの電源を切ってください。
2. プロポ底面のねじ (4 箇所) を回して、ふたを外してください。
3. 単 3 形ニッケル水素電池 (充電式) を 4 本交換してください。
4. ふたを閉じてください。

プロポの電池は消耗品です。使用時間が著しく短くなった場合は交換してください。

不用になった電池は、一般のゴミと一緒に捨てず、それぞれの自治体の取決めに従ってください。または、お買い上げの販売店にご相談ください。



4. 運転・作業の仕方

危険

運転上の注意

- 不安定な場所や傾斜地に駐車しないでください。
 - 傾斜地や凹凸路面を走行する際には、機体の傾斜角度に注意してください。
 - 傾斜警告ランプが点灯・点滅した際には、速やかに傾斜の緩やかな場所へ移動してください。
 - 万が一、機体を衝突・転倒させてしまった場合にはすぐにエンジンを停止してください。
- 衝突・転落等によってフロントカバーが変形した際には販売店にご相談ください。
- 転倒事故や重傷・死亡事故を起こすことになります。

警告

走行前の確認

- 巻頭の「安全にご使用いただくために」を守って使用してください。
- 発進する前に、周囲の安全を確認してから機体から離れて操作してください。
- カバーを外した状態で運転しないでください。

事故やけがの原因となります。

走行運転

- 一般道路（公道）の走行はできません。
- 一般道路（公道）および夜間は自動車に乗せて移動してください。
- 人や物をのせて走行しないでください。
- 急発進、急制動、急旋回をしないでください。
- わき見運転はしないでください。

事故の原因となります。

走行中の注意

- 走行中、本機に人や動物が近づかないように注意してください。
- 回転部や作動部（クローラー・転輪・デッキ周辺など）に触らないでください。
- 傾斜地を走行する際は等高線上に走行してください。また、作業者は山側から操作し谷側には人を侵入させないでください。
- 走行中に異常を感じた場合には前後進 / 旋回レバーから手を離して機体を停止させてください。

傾斜地で停止させてもブレーキが作動しますが、前後進 / 旋回レバーから手を離さないとブレーキが作動せずに、機体の下側へ滑りだす恐れがあります。

事故やけがの原因となります。

4-1. エンジンの始動

警告

- エンジンの排出ガスには、有毒な成分が含まれています。屋内など通気の悪い場所ではできるだけ運転しないでください。
- 車両の移動のためにやむを得ず室内で始動するときは窓や戸を開けてください。
- 始動後はすぐに室外へ移動してください。室内で暖機や長時間の運転をしないでください。

中毒事故の原因となります。



注意

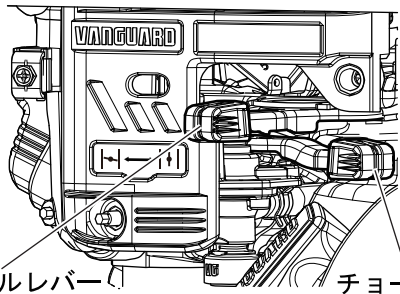
- 運転前に周囲の安全を確認してください。

事故の恐れがあります。

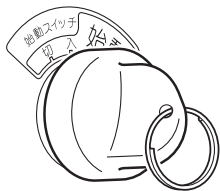
4. 運転・作業の仕方



1. エンジン停止スイッチを「運転」位置に回してください。



アクセルレバー チョークレバー



2. アクセルレバーを開いて中間位置にしてください。

3. スタータスイッチを「始動」位置に回してください。
4. 気温が低い時はチョークレバーを閉じてください。
5. エンジンが始動したら、スタータスイッチから手を離してください。スタータスイッチは自動的に「入」位置に戻ります。
6. チョークレバーを閉じている場合は開いてください。
7. アクセルレバーを全開位置にしてください。

重要

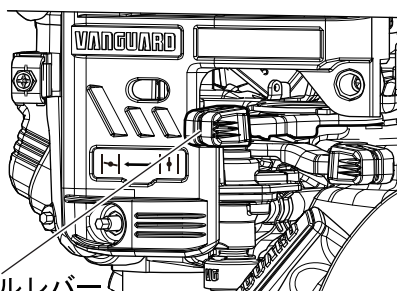
- スタータスイッチを回して10秒以内に始動しないときは、30秒以上休んでから再び始動操作をしてください。
- スタータの20秒以上の連続使用は故障の原因となります。
- エンジン運転中は、スタータスイッチを「始動」位置にしないでください。
- アクセルレバーは全開でご使用ください。

発電が行えず、正常に動作しません。

- 12V鉛バッテリーを外した状態でエンジンを始動しないでください。

冷却ファンなどのアクセサリが破損する恐れがあります。

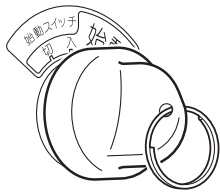
4-2. エンジンの停止



アクセルレバー

1. アクセルレバーを閉じてエンジンを停止します。

4. 運転・作業の仕方



2. スタータスイッチを「切」にして本機の電源を切ります。

警告

- スタータスイッチおよびエンジン停止スイッチでエンジンを停止させて、アクセルレバーが開いた状態で斜面に停車しないでください。また、作業が終わった後、バッテリー走行や輸送する際には必ずアクセルレバーを閉じてください。

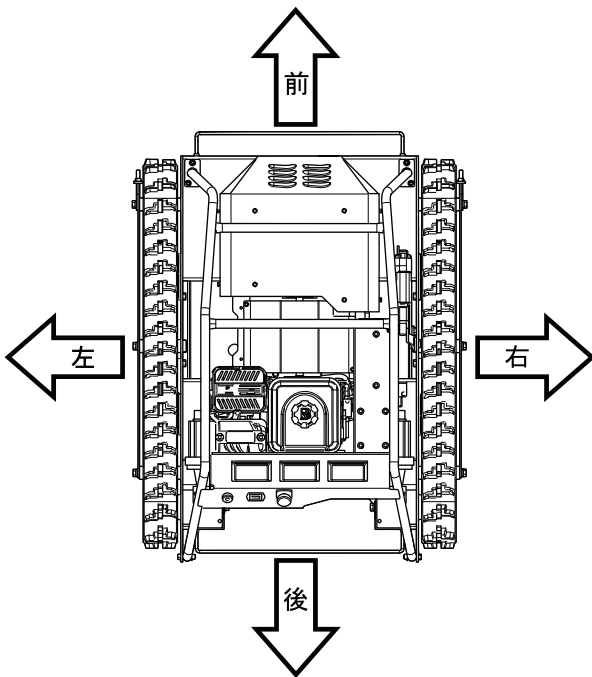
燃料が漏れ、事故や重傷を負う原因となります。

重要

- 電源 OFF 後、再び本機の電源を ON にする場合は、5 秒程時間をおいてください。

プロポの通信を開始できない場合があります。

4-3. 走行の仕方



1. 22 ページの《エンジンの始動》に従ってエンジンを始動させてください。
2. プロポの電源スイッチを回して電源を入れてください。
3. プロポの刈刃回転スイッチと正面切替スイッチが「切」になっていることを確認してください。

重要

- プロポ電源始動時に正面切替スイッチが「入」の位置にあった場合には、操作ができませんので使用する前に「切」にしてください。

4. プロポのスタートスイッチを押して通信を開始してください。
5. 本機の通信状態ランプが点滅から点灯に変わると操作ができます。
6. 走行速度調整スイッチ・モーターバランス調整スイッチの位置を確認して調整してください。
7. 本機を前後進させる場合には、前後進レバーを操作してください。
8. 本機を旋回させる場合には、前後進レバーを倒しながら旋回レバーを操作してください。
9. 本機をその場で旋回させる場合には、旋回レバーのみを操作してください。

車速および旋回速度の調整は、前後進 / 旋回レバーの倒す量で行います。

警告

- 本機の操作を始める前には、必ず低速にして前後進 / 旋回レバーの倒し方向と進行方向が合っているかを確認してください。

衝突など、事故や重傷を負う原因となります。



4. 運転・作業の仕方

4-4. 草刈作業の仕方

⚠ 危険

- 作業範囲内に人を近づけないでください。
刈取部から石などが飛散して、死亡事故・重傷を起こすことになります。
- デッキ内に手や足を近づけないでください。
刈刃で死亡事故・重傷を起こすことになります。

⚠ 警告

- 作業前に刈刃を点検し、変形や締め付けに緩みがないか確認してください。
- 作業範囲内の石や異物は取り除いてから作業してください。
- 飛散防止カバーを外した状態で作業しないでください。
- 周囲の人や動物、自動車、建物から離れて作業してください。
- 作業中は周囲が見える位置で安全を確認しながら操作してください。
故障、事故や重傷を負う原因となります。
- マフラーやリコイルカバーなどエンジン周辺に堆積した刈草などは、エンジンを停止してから速やかに取り除いてください。
火災の原因となります。

⚠ 注意

- 使用時は保護眼鏡・長靴・手袋・帽子等の保護具を着用して作業してください。
5 ページ《安全にご使用いただくために 保護具着用》を参照してください。
- 運転中、運転停止後はエンジン周辺が高温になります。
誤って触ったりすると火傷する恐れがあります。



1. 23 ページ《走行の仕方》に従って機体を操作してください。
2. 刈高調整スイッチを操作し、刈高さを最高にしてください。
3. 刈刃回転スイッチを「入」にすると刈刃状態ランプが2秒間点滅後、刈刃が回り出します。刈刃状態ランプが点灯した後に草刈作業を行ってください。
4. 刈高調整スイッチで刈高さを適切に調節してください。
5. 草刈作業が終わった後は、機体を停止させて刈刃回転スイッチを「切」にしてください。
6. 刈高調整スイッチを操作し刈高さを最高にしてください。
7. 22 ページ《エンジンの停止》に従ってエンジンを停止させてください。

重要

- 刈取負荷が大きい場合や石などの異物に衝突した際には、刈刃状態ランプが高速点滅して刈刃と走行が停止します。
その際には、刈刃回転スイッチを「切」にすると走行可能になります。
再度草刈作業をする際には、刈取高さを上げる、あるいは走行速度を下げて作業してください。

4. 運転・作業の仕方

4-5. 積み下ろし

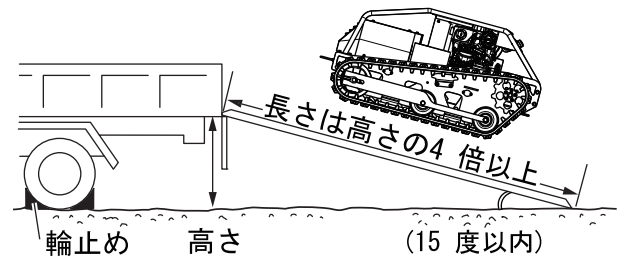


警告

自動車に積み下ろしをするときは、次のことを守ってください。

- 障害物のない平坦で硬い場所で積み下ろしをする。
- 周囲を確認し、本機の周りには人を近づけない。
- 自動車は動き出さないようにエンジンを停止し、サイドブレーキを引いて「車止め」をする。
- アルミ板は十分な強度 (1枚当たり耐荷重 200 kg 以上)、幅 (30 cm 以上)、長さ (高さの4倍以上)、滑り止め、フックがあるものを使用する。
- アルミ板は本機のクローラー幅に合わせ自動車の荷台と平行に段差のないように掛け、横ずれしないようにフックを荷台に確実にかける。
- 積み下ろしするときは刈高さを最高にして、進行方向を確認してから低速で行う。
- アルミ板上で進路変更しない。
- 本機を輸送する際には必ず電源・エンジンを停止させてアクセルレバーは閉じる。

転倒・転落などの事故の原因となります。



5. 点検・整備



警告

- マフラーやリコイルカバーなどエンジン周辺に堆積した刈草などは、エンジンを停止してから速やかに取り除いてください。

火災の原因となります。



注意

- 作業終了後は平坦な場所でエンジンを停止し、製品が冷えてから清掃してください。

事故や火傷の恐れがあります。

- カバーを外して清掃を行った場合には、確実にカバーを固定してください。
- 点検・整備する際には、エンジン停止、スタータスイッチを「切」にして行ってください。

けがを負う恐れがあります。

重要

- 製品を洗浄する際には、デッキ内のみ行ってください。エンジンや電気部品、配線等に直接水をかけないでください。

故障の原因となります。

- 製品が正常に機能して、安全にご使用いただくために、定期的に点検整備をしてください。エンジンはエンジンの取扱説明書も参照して点検整備をしてください。
- 毎月、毎年、点検・整備をした日を記録してください。
- 点検・整備には、専門的な知識が必要です。ご自分で点検整備ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 販売店にご相談するときは製品の状況と合わせて「型式名」、「製造番号」をお知らせください。
- 1年に1回以上は、お買い求めの販売店に定期点検を依頼してください。
- オイル交換後の廃液は家庭用ゴミと異なり産業廃棄物に該当します。みだりに廃棄すると、法律により罰せられます。専門の廃棄物処理業者で処理してください。

5. 点検・整備

5-1. 日常点検・定期点検

ご使用者の皆さまが、この製品の性能を十分に発揮し、安全な作業をしていただけるように、日常の点検を次のようにまとめましたのでご利用ください。なお点検作業の際は、一部の作業を除き必ずエンジンを停止してください。

表 1 日常点検作業表

	点検箇所	点検作業			摘要
		運転前	運転中	運転後	
エンジン系統	エンジン周辺	○	○	○	ゴミや刈草などがいないか確認（適時清掃）
	エンジンの始動性	○			始動が容易にできるか確認
	エンジンの運転状態		○		排気色、排気臭、エンジン音、振動の確認
	燃料	○			残量、キャップの締付、漏れの確認
	エンジンオイル	○			規定量、汚れ、漏れの確認
走行系統	電磁ブレーキの効き具合	○	○		クローラがロックするか確認 ひきずりなどが無いか確認
	クローラーの状態	○			亀裂、損傷および偏摩耗の有無を確認 異常な緩みなどがいないか確認
刈取系統	飛散防止カバー	○		○	変形、亀裂、腐食などがいないか確認
	刈刃	○			割れ、変形、異常摩耗などがいないか確認
	刈刃取付部品	○			緩み、脱落、異常摩耗などがいないか確認
	デッキ	○		○	刈草や土などの堆積がないか確認
電気系統	スタータスイッチ	○			エンジン始動・停止ができるか確認
	エンジン停止スイッチ	○			エンジン停止ができるか確認
	ランプ類	○	○		各ランプが点灯するか確認
	12 V 鉛バッテリー	○			ターミナルのゆるみ、汚損の点検
	50 V リチウムバッテリー	○			確実に取り付けられているか確認
	送信機（プロポ）	○	○		正しく操作できるか確認
その他	前日の運行において異常を認められた箇所	○	○		異常を認めた箇所が完全に修理されているかを確認
	フロントカバー	○		○	ゴミや刈草などがいないか確認
	各カバー	○			確実に取り付けられているか確認

5. 点検・整備

◆ 定期点検・調整について

定期点検や整備を農閑期にすると、農繁期には車両の性能が十分発揮され、安全で快適な作業ができます。車両の整備不良による事故などを未然に防止するために、1 シーズン毎に整備工場に定期点検・整備を受け、各部の安全を確保してください。

表 2 定期点検作業表

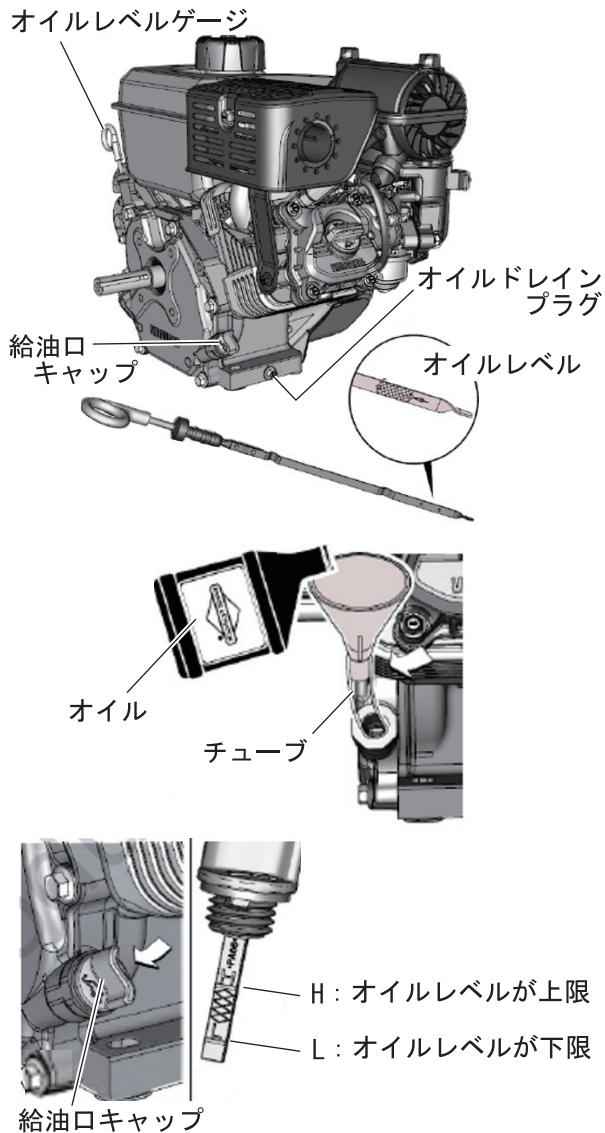
点検箇所	処置	作業頻度	備考
エンジン周辺	点検・清掃	8 時間毎 (毎日) ※1	P29
エンジンオイル	点検	8 時間毎 (毎日)	エンジン取扱説明 書参照
	交換	初回 20 時間 2 回目以降 200 時間毎あるいは年 1 回	
エアクリナー	点検	8 時間毎 (毎日)	
	清掃	200 時間毎あるいは年 1 回 ※1	
	交換	600 時間毎あるいは 3 年毎 ※1	
燃料ホース	点検・交換	年 1 回または漏れ等の確認時	
燃料タンク	点検・清掃	25 時間毎	
フィルタ・キャップ	交換	目詰まり・漏れ等の確認時	
スパークプラグ	交換	年 1 回	P30
冷却フィン	分解・清掃	年 1 回	
クローラー	点検	8 時間毎 (毎日)	
	調整	200 時間毎あるいは年 1 回 ※1	
	交換	400 時間毎あるいは 2 年毎 ※1	
走行モーター減速機オイル	交換	200 時間毎あるいは年 1 回 ※1	P30
プロペラシャフト グリース	交換	50 時間毎	P31
刈刃	点検	8 時間毎 (毎日)	P31
	交換	50 時間毎 ※1	
刈刃固定 ボルト・ナット	点検	8 時間毎 (毎日)	
	交換	50 時間毎 ※1	
刈刃ガイドバー	点検 交換	8 時間毎 (毎日) 変形、偏摩耗、破損時	P31
飛散防止カバー	点検・清掃 交換	8 時間毎 (毎日) 変形、亀裂、腐食時	
デッキ	点検・清掃	8 時間毎 (毎日)	
	交換	変形、破損時	
フロントカバー	点検	8 時間毎 (毎日)	P31
スクリーン	清掃	50 時間毎 ※1	
12 V 鉛バッテリー	点検・清掃	50 時間毎	P32
ヒューズ	点検・交換	ランプ類が点灯しない時	P33
電気配線	点検	年 1 回	P33

※1：使用状況によって変化しますので目安としてください。

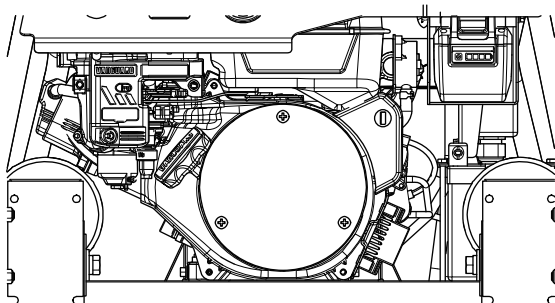
5. 点検・整備

5-2. 各部の点検

■潤滑系統の点検



■エンジン周辺



エンジンオイルの交換

(18 ページの「推奨オイル」を参照)

重要

○ エンジンの取扱説明書に従いオイルを補給・交換してから、運転をはじめてください。

オイルが入っていない状態でエンジンを始動させると修理不可能な損傷を引き起こし、保障の対象外となります。

注意

○ 正規面より多く入れるとオイルが吹き出ることがあります。

1. 製品を水平な場所においてください
2. 給油口キャップ、オイルドレンプラグを外し、オイルを耐熱耐油容器に排出してください。
3. エンジンの取扱説明書を参照し、必要に応じてクランクケースにオイルを規定レベル内まで補給してください。
4. キャップ類をしっかり締めますが、締めすぎないように注意してください。
5. エンジンをかけ、1 分間動かしてください。エンジンが動いている間に、オイルの漏れがないか点検してください。

重要

○ エンジンのオイルゲージは確実に締め付けてください。締め付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

○ 交換後のオイルはゴミの中や地面、排水溝等に捨てないで下さい。

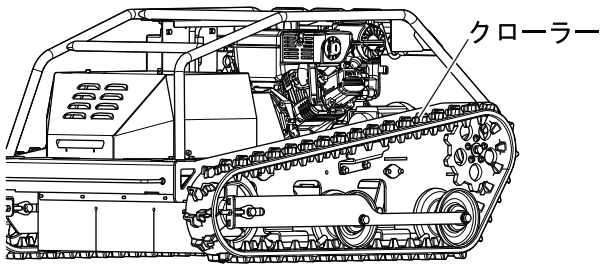
処理は購入した販売店にご相談ください。

エンジン周辺

- ◆ マフラーやリコイルカバーに付着した刈草やゴミ等を清掃してください。

5. 点検・整備

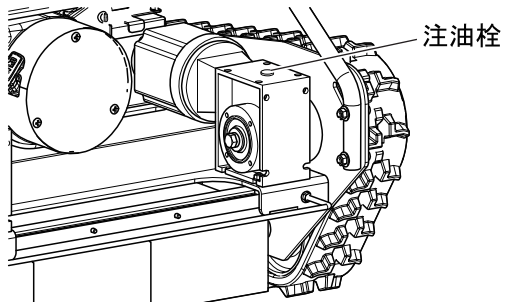
■ クローラ



クローラ

- ◆ 亀裂、損傷および偏摩耗の有無、異常な緩みなどがなければ確認してください。
- ◆ 調整や交換が必要な場合は、販売店に依頼してください。

■ 走行モーター減速機オイル



走行モーター減速機オイル

- ◆ オイル交換が必要な場合は販売店に依頼してください。

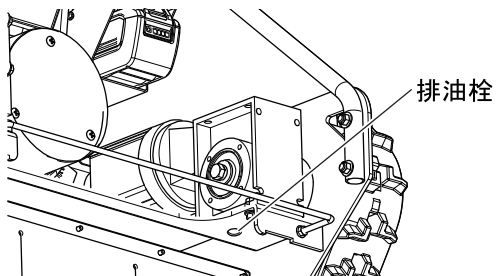
- ◆ オイル交換作業は下記、手順に従って行ってください。

1. 適当なオイル受けを準備します。
2. 注油栓を外します。
3. 排油栓を取り外し、オイルを抜きます。
4. オイルが抜けたら排油栓を締めます。
5. 注油口からオイルを入れます。

種類：ギヤオイル #90

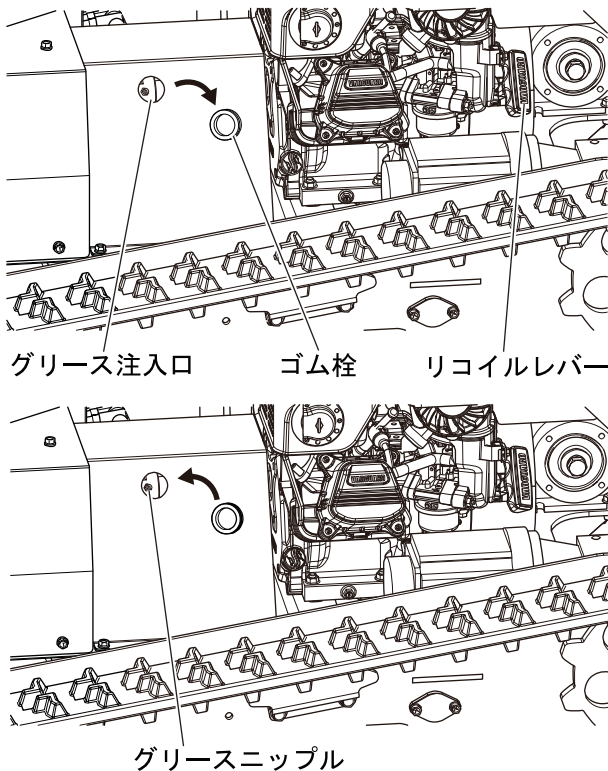
油量：0.22 L

6. 注油栓を締めます。



5. 点検・整備

■プロペラシャフト グリース

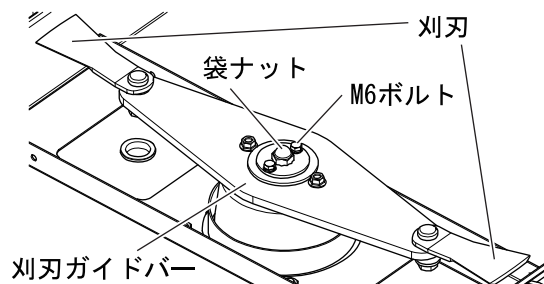


プロペラシャフト グリース

◆ グリース注入作業は下記手順に従って行ってください。

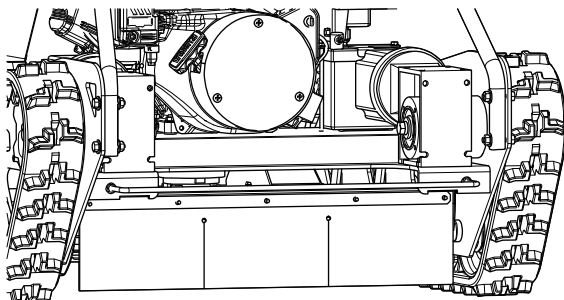
1. エンジンとフロントカバーの間にあるプロペラシャフトカバーのゴム栓を取り外してください。
2. グリース注入口からグリースニップルが見えるようにプロペラシャフトを回転させてください。
プロペラシャフトはエンジンのリコイルレバーを引くと回転します。
3. グリースガンで指定のグリースを注入してください。
種類：エピノック AP(N) No.2
または相当品
注入量：2.5 mL
4. 注入後はゴム栓で注入口に蓋をしてください。

■刈刃、刈刃固定ボルト・ナット、刈刃ガイドバー



- ◆ 割れ、変形、緩み、異常摩耗などが無いか確認してください。
- ◆ 緩みが発見された際は、増し締めではなく、交換になりますので販売店へご連絡ください。
- ◆ 刈刃等の交換作業は適切な工具と整備技術が必要となります。
- ◆ 交換が必要な場合は、販売店に依頼してください。

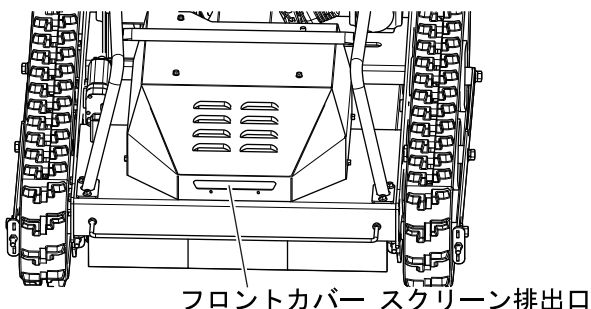
■飛散防止カバー、デッキ



飛散防止カバー、デッキ

- ◆ 草刈作業後、飛散防止カバーおよびデッキを清掃してください。
- ◆ 清掃後、変形・破損等が無いか確認し、異常があれば交換してください。
- ◆ 交換作業は、販売店に依頼してください。

■フロントカバー スクリーン



フロントカバー スクリーン

- ◆ 草刈作業後、フロントカバー スクリーンに刈草やゴミ等が付着していないか確認してください。
- ◆ 付着していた場合には、排出口からエアブローあるいはブラシを入れて取り除いてください。

5. 点検・整備

■ 12 V 鉛バッテリー

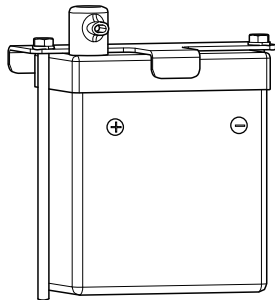
⚠ 危険

- バッテリーを取り扱うときは、バッテリー液、火気などに十分に注意してください。
- バッテリーの上またはバッテリーカバーの上には、物を置かないでください。
火災や、火傷を負うことになり、失明することもあります。
- バッテリーのコードは、押さえ金具などの金属部分に近づけないようにして、接触（ショート）しないように確実に固定してください。
- 充電器で充電するときは必ずバッテリーのターミナルを外してください。
バッテリーが破裂（爆発）することになります。



⚠ 警告

- 充電するときは、換気をして、タバコなどの火気を近づけないでください。
- 車両にバッテリーを載せたまま充電するときは、エンジンを停止して、電源を必要とするスイッチを切り、－側のターミナルを外してください。
- 充電器のスイッチを切ってから、充電クリップを接続したり、取り外したりしてください。
- 充電中にバッテリーテストを使用しないでください。
- バッテリー液を扱うときは、ゴム手袋、保護めがねをしてください。
- バッテリー液に触れたりバッテリー液が目に入った場合は、すぐに水で洗い流し医師に相談してください。
- 使用済みバッテリーの処理は、購入した販売店に依頼してください。
火災、火傷、失明の原因となります。



12 V 鉛バッテリー

点検 …

- ◆ バッテリー液量は液面がレベルラインの上限・下限の間にあるか確認し、減っていればバッテリー補充液を上限まで補給してください。（メンテナンスフリーのバッテリーは、補充の必要がありません）

清掃 …

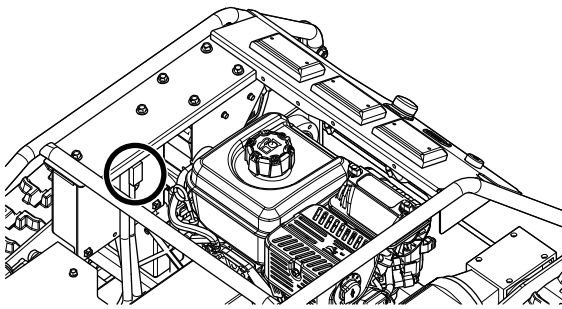
- ◆ バッテリーの上面と側面またはターミナルが汚れていたら、水またはぬるま湯で清掃してください。ターミナルには、さびを防ぐため、ワセリンかグリースを薄く塗ってください。

交換 …

1. バッテリー固定具を取り外してください。
2. バッテリー端子の－側を取り外し、次に＋側を取り外してください。
3. 指定のバッテリー YTX7L-BS と交換してください。
4. バッテリー端子の＋側を先に取り付けて、次に－側を取り付けてください。
5. バッテリー固定具を取り付けてください。

5. 点検・整備

■ ヒューズ



ヒューズ

点検・交換 …

- ◆ 配線の回路に異常を生じたとき、事故を未然に防止するためにヒューズが設けてあります。運転中、電気系統に異常が生じたときは、ヒューズが切れていないかチェックしてください。
- ◆ スタータスイッチを「切」にしてから、ヒューズボックスのふたを外してヒューズを点検してください。
- ◆ ヒューズが溶断しているときは、原因を調べ修理後、指定容量のヒューズと交換してください。
- ◆ 点検・交換後は、元通りにヒューズボックスふたを取り付けてください。
- ◆ 再びヒューズが溶断するときは販売店にご相談ください。

警告

○ 指定容量と異なる容量のヒューズや、針金、銀紙などを指定容量のヒューズのかわりに使用しないでください。

火災の原因となります。

■ 電気配線

電気配線

- ◆ 配線端子部の「ゆるみ」や「接続不良」、配線の「損傷」は電気部品の性能を損なうだけでなく、「ショート (短絡)」の原因となります。配線が傷んだ場合は、販売店に連絡し、交換・修理をしてください。

警告

○ 電気配線を点検するときは、スタータスイッチを「切」にし、バッテリーコードの (-) 端子を外してください。

5. 点検・整備

5-3. 故障対策

■エンジン始動時

エンジン始動時

不調の状況	原因（点検箇所）	処置	参照ページ
スタータスイッチを回しても、セルが回らない	バッテリー端子の外れ、ゆるみ、腐食	端子部を清掃して確実に締付ける	P32
	バッテリーが放電している	充電または交換する	P32
	ヒューズが切れている	配線を確認してヒューズ交換する	P33
セルは回るがエンジンが始動しない	燃料タンクに燃料がない	燃料を補給する	P19
	始動操作が誤っている	正しい手順で始動操作する	P22
	エンジンオイル不足	規定量まで補充する	－
	エアクリナーの目詰まり	清掃または交換する	－
	点火プラグの不調	清掃または交換する	－
	キャブレターの不調	販売店に連絡	－
エンジン始動後自然に停止する	チョークレバーが閉じたまま	チョークレバーを開く	P22
	エアクリナーの目詰まり	清掃または交換する	－
	燃料に水が混入している	燃料を抜き取る	－
白煙が出る	エンジンオイルの入れすぎ	規定量に調整する	－
	シリンダ・ピストンの摩耗	販売店に連絡	－
黒煙が出る	チョークレバーが閉じたまま	正しい手順で始動操作する	P22
	エアクリナーの目詰まり	清掃または交換する	－

■走行時

走行時

不調の状況	原因（点検箇所）	処置	参照ページ
走行しない	通信状態ランプが点灯しない	アクセルレバーを全開にする	P22
	通信状態ランプが点滅している	プロポのスタートスイッチを押す	P23
	正面切替が「入」になっている	正面切替を「切」にする	P23
	刈刃状態ランプが点滅している	刈刃回転を「切」にする	P24
	電気部品のオーバーヒート	冷えるのを待って下さい	－
	電気配線の接続不良・断線	販売店に連絡	－
	各ランプが点滅・点灯している	販売店に連絡	－

5. 点検・整備

■ 草刈作業時

草刈作業時

不調の状況	原因（点検箇所）	処置	参照 ページ
刈取負荷が大きく 走行が停止する	走行速度が速い	走行速度を下げる	P17
	刈高さが低い	刈高さを高くする	P17
	刈草の草丈、草の量が多い	二度刈りをする	－
	地形にうねりがある	刈取方向を変える	－
	地形に起伏（凹凸）が多い	刈高さを高くする	P17
	刈刃の変形・摩耗	新品に交換	P31
振動が大きい	刈刃が破損している	新品に交換	P31
	刈刃ガイドバーが破損している	新品に交換	P31
	デッキが破損している	新品に交換	－
異物が飛散する	飛散防止カバーが破損している	新品に交換	－
	デッキが破損している	新品に交換	－

5. 点検・整備

5-4. 格納について

■ 日常格納



注意

- 平坦で引火の危険のない安全な場所に保管してください。
- 雨ざらしとならないように納屋に入れるかシートを掛けてください。シートを掛ける場合は、マフラーやエンジン本体が十分に冷えてから行ってください。

火災や火傷を負う恐れがあります。

重要

- 本機を1週間以上使用しない場合には、50V リチウムバッテリーを取り外してください。50V リチウムバッテリーと送信機（プロポ）は子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。また、保管温度は0～40℃としてください。

性能が損なわれる恐れがあります。

5. 点検・整備

■長期格納

シーズンの作業後は、定期点検整備を忘れずに行ってください。

重要

○ 燃料タンクやキャブレタ内から燃料を抜き取ってください。

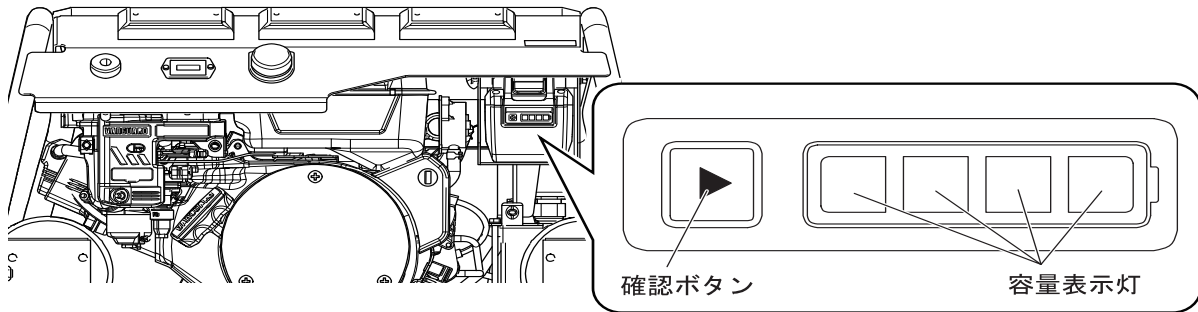
長期間放置すると、燃料が劣化して始動不良や回転不調の原因となります

○ 12V 鉛バッテリーの端子取り外して本機をホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

性能が損なわれる恐れがあります。

○ 50V リチウムバッテリーの確認ボタンを押して容量表示灯を確認してください。容量表示灯が1つ以下の場合には、エンジンを始動しアクセルレバーを全開にした状態で15～20分程度の充電を行ってから取り外してください。

容量が少ない状態で本機に取り付けた状態のまま放置すると充電ができなくなる可能性があります。



6. 仕様

名称		共立ラジコン草刈機
型式		RCM600
機体寸法	全長	1255 mm
	全幅	975 mm
	全高	640 mm
機体質量		235 kg
刈取部	刈幅	600 mm
	刈高	35 ～ 100 mm(無段階調整)
	刈取方式	1 軸フリーナイフ方式
	駆動方式	電動モーター
	刈刃枚数	2 枚
走行部	接地部	ゴムクローラー
	駆動方式	電動モーター
	走行速度	0 ～ 4.0 km/h
	使用最大傾斜角度	45°
エンジン	型式	VANGUARD 200 / 6.5 Gross HP 12V337
	排気量	203 cc
	出力 (ネット)	4.12 kW / 3600 rpm
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	3.1 L
	スパークプラグ	RC12YC
送信機 (プロポ)	防水性	IP65
	アシスト機能	左右モーターバランス
	走行速度可変	走行速度ボリュームスイッチ
	使用電池	単 3 形 × 4 本

* 本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

7. その他

7-1. 消耗品

No.	部品名称	個数	部品番号	備考
1	刈刃・ボルトセット + 刈刃 + 刈刃固定ボルト + 刈刃固定ワッシャ + 刈刃固定ナット	1	X041000830	部品一式セット
		2	N.A.	
		2	V206000820	単品部品
		4	V307000640	単品部品
		2	V266000270	単品部品
2	刈刃ガイドバー	1	C365000470	
3	飛散防止カバー	1	C550000900	
4	クローラー	2	J290000050	
5	プロペラシャフト用グリース	1	X695000050	カートリッジタイプ 400 g
		1	X695000100	チューブタイプ 220 g

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL : 0120-176-181 (製品・技術的な問い合わせ)
受付時間: 弊社営業日 9:00~12:00 / 13:00~17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL : 0428-32-6181 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。

X750-031705

X750417-0806

(C) 2023 株式会社やまびこ 著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。